



第23回Wリーグ開催に伴う 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン Ver.2(1027)

1. はじめに

第23回Wリーグ(2021-22シーズン)は、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初発表のスケジュールを変更し、10月16日より開催いたします。

加えて、新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑みながら、観客入場制限開催(以下、入場制限試合)、もしくは無観客(リモート)試合として開催する運びとなりました。

本ガイドラインは、第23回Wリーグ(2021-22シーズン)に向けて、新型コロナウイルス感染症の感染予防および対処についてのWリーグ選手、関係者の行動指針を示し、安全にWリーグ公式戦を実施できるように意識を統一することを目的として作成したものです。

本ガイドラインに示す内容は、対策に向けての共通ルールと位置付け、必ず実施していただくとともに、各チームにおいても適宜、感染症の感染予防対策を実施するようお願いいたします。

感染状況に基づく政府の対策、都道府県の方針に従うことが大前提とし、状況の変化に応じて、本ガイドラインを随時更新いたします。

■新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の特徴

- ・発熱、咳、倦怠感、味覚・嗅覚障害等の症状が報告されている
- ・発症日の2日前から他人へ感染させる可能性があり、その間に濃厚接触した者は隔離の対象となる
- ・感染から発症までの潜伏期間は1~14日、平均5日とされている
- ・感染源を調査する場合は過去14日間の行動記録(対人接触)をさかのぼる

2. 必ず行うこと

①PCR検査(リーグ公式)

- ・対象者:出場全チームにおいて毎試合ベンチ入りする者=エントリーメンバー
選手・HC・各コーチ・TR・MGR・GM・部長およびWリーグ担当審判員、Wリーグ事務局員
- ・Wリーグ指定のレギュレーションに従いシーズン前～シーズン中に於いて全5回実施する
第1回 8月30日(月) 第2回 10月12日(火) とする。
以降、リーグ指定週にて、実施とする
 - *当該試合直前の公式検査を実施しない者は原則として本シーズンのベンチ入りを認めない。
※但しチーム手配にてPCR検査もしくは抗原検査にて陰性証明が提出された場合は認める。
 - *上記PCR検査の費用はエントリー者に限りWリーグが負担する
- ・対象者がシーズン期間において、新型コロナウイルス感染者となった場合、保健所の指示に従って病院、自宅、もしくは宿泊施設での療養を行う。退院、隔離解除の基準は医療機関、保健所の指示に従い、退院後の復帰についてはp. 8にある「退院後～復帰への基準」に則る。
- ・対象者がシーズン期間において、濃厚接触者となった場合、保健所の指示に従い自宅等で隔離待機すること。隔離解除の基準はp. 9にある「濃厚接触者の復帰フロー」に則る。
 - *PCR検査を行う場合は上記の定期受検分を前倒しで使用する。もしくは、急を要する場合はチーム負担にて近隣の検査業者及び機関にて実施してもよい。
- ・やむを得ない事情でリーグ公式PCR検査が受検できなかった場合、速やかにWリーグへ当該選手・スタッフ名を報告すること。

原則として直近の公式PCR検査を受検し、陰性判定を受けていない選手の出場は認められない。自チーム負担・手配にてPCR検査を実施し検査実施を証明できる資料をWリーグに提出すること。

②健康管理日報(アトレータ)の記入と管理

- ・対象者:出場全チームにおいて当日ベンチ入りする者
選手・HC・各コーチ・TR・MGR・GM・部長など
※①を実施する(した)者のみ

本来のベンチ入りは各チームエントリー者であるが、今大会は感染予防の観点から健康管理日報に記載のある者で、且つ「37.5℃以上または平熱+1.5度を超える発熱」がない者のみベンチ入りを可とする。

- ・記入期間:2021年8月16日(月)～シーズン終了までの毎日
- ・健康管理は「アトレータ」等を利用して、各チーム部長が「健康管理責任者」として管理する
- ・「アトレータ」のマスト入力項目は「体温」「体調」「味覚障害」項目とする

・健康管理日報に記載のある者で、37.5℃以上または平熱よりも+1.5 度を超える発熱がある場合は、可能な限り他の選手と隔離し、速やかにWリーグへ報告すること

【追記】

チームからの報告者は「運営部会メンバー」とする。

報告宛先はWリーグ専務理事もしくは事務局長とし、電話にて直接伝達すること。

急を要する場合、チームTR・MGRからの報告は必要だが、運営部会メンバーからの電話連絡をもって「報告」と定義する。

※一般的な目安は 37.5 度とされているが、平熱の高低差があるため、早期に発熱者をスクリーニングするために平熱+1.5 度も発熱ありとする。以後の本文における解釈についても同様です。

③行動記録の記入と管理

- ・対象者:当日ベンチ入りする者
- 選手・HC・各コーチ・TR・MGR・GM・部長など
※①を実施する(した)者のみ

Wリーグから提出要請があった場合は、健康管理担当者の責任において速やかに提出すること。

例) #1 山田 花子

主な行動	6:00 起床	9:00 チーム練習
	12:00 昼食	13:00 外出(行先〇〇、交通手段、同伴者)
	18:00 帰宅	

※「アトレータ」の備考欄に記入をお願いします。

※②③はアトレータに準ずるツールの利用も可とするが、リーグが内容の提出を求めた場合は速やかに協力すること。

④リーグへの報告

①に記載しているとおり選手・チームスタッフ等エントリースタッフが下記に当てはまる場合、対象者は自宅待機とした上で必ずWリーグへの報告を行うこと。

【追記】

チームからの報告者は「運営部会メンバー」とする。

報告宛先はWリーグ専務理事もしくは事務局長とし、電話にて直接伝達すること。

急を要する場合、チームTR・MGRからの報告は必要だが、運営部会メンバーからの電話連絡をもって「報告」と定義する。

- ・37.5℃以上または平熱よりも+1.5 度を超える発熱を認めた
- ・せき | 頭痛 | 体のだるさ | のどの痛み | 食欲低下 | 睡眠時間 | 味覚や嗅覚の異常がある
- ・発熱が無くても「息苦しさ(呼吸困難)」「強いだるさ(倦怠感)」等強い体調不良を感じる
- ・Wリーグがチームに義務付けるリーグ開催前の検査以外でP C R 検査を予定している
- ・上記の P C R 検査の結果が出た

【追記】

上記コロナ疑い症状例以外であっても、ゲームエントリーから外れるようなコンディションの選手・スタッフが発生した場合は、内容共有のためリーグに報告すること。

P10における「審判・チーム(MGR)による健康状態共有ミーティング」にてエントリーメンバーの体調不良情報については確実に共有すること。

併せて選手・ヘッドコーチが不帯同となった場合は、自チームのHPもしくはSNSに対外的情報開示を必ず行うこと。

■報告の際、以下の事項についてお知らせください

- ・症状の発生した当該者の役職や所属セクション※個人名の公表義務はございません
- ・発生している症状と、発生期間
- ・医療機関の受診状況や、チームドクターなどへの相談経過
- ・選手やチームスタッフとの接触歴(症状発生から 2 日前にさかのぼって)

■選手及びチーム関係者に疑い症状が出た場合の対応

- ・対象者から症状が出た日から14 日前までの行動記録と、症状が出た日以降の行動記録のヒアリング
- ・症状を自覚した時点で速やかに報告/自宅待機
- ・チームドクターに報告:チームドクターは各地域の専門家・連携医療機関への連絡

- ・各地域の専門家・連携医療機関のアドバイスに基づく濃厚接触者の洗い出し
濃厚接触者の抽出及び集団発生に対するリスク管理
- ・PCR 検査及び医療機関受診対象者の確認:健康チェック表、自覚症状を確認の上、PCR
検査検体の採取（チームドクター、専門家・連携医療機関など）
- ・マスコミ対応:各チームの関係者及びチームドクター、専門家チーム・アドバイザーによる
記者会見などへの対応

■報告・相談の取り扱いについて

- ・Wリーグ内コロナ対応担当だけが情報の閲覧権限を有する
- ・他チームの参考となる場合は個人情報を取り除いた上、情報を共有することがある

※緊急時などチーム⇄リーグ間の報告を簡略化するため、W リーグ職員がアトレタの管理者として登録されています。個人データの取り扱いについては守秘義務を遵守いたします。

⑤疑い症状がある場合の相談や医療について

■疑い症状がある場合の相談

厚生労働省が発表している、以下いずれかの目安に該当する者は、チームドクター、受診者相談センター、医療機関にあらかじめ電話で相談すること。

1. 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱などの強い症状のいずれかがある
2. 高齢者や基礎疾患がある者で、発熱やせきなどの比較的軽い風邪症状がある
3. 比較的軽い風邪が続く、特に 4 日以上続く場合は 37.5℃以上または平熱よりも+1.5 度を超える発熱が無くても相談する
4. 37.5℃以上の発熱が 2 日間続いた場合(個人差があるため平熱が低い方はプラス 1.5 度を基準)

※感染者でも発熱症状が出ないケースもあるため、上記症状を感じた場合は必ず相談すること

相談・受診の時点で症状が出た日から 14 日前までの行動記録と、症状が出た日以降の行動記録を準備し、受診相談センター、チームドクターを含むチーム側にも共有すること。

(症状を自覚したタイミングで報告/自宅待機を行うこと。)

※受信相談センターはすべての都道府県に設置され、24 時間対応しています。詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

【受信相談センター ホームページ】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-kikokusyasessyokusya.html

■疑い症状又は濃厚接触疑いがある場合のチームの活動

選手・チーム・スタッフに新型コロナウイルスの感染疑い症状が出た、もしくは感染疑い症状があり PCR 検査を受け、結果を待っているなどの状況の場合、チームドクターなどに相談を行いながら本人以外の活動を検討してください。

⑥PCR 検査の結果、陽性反応が出た場合の対応

■陽性判定が出た本人の対応

- ・検査結果を所属チームへ報告
- ・医療機関もしくは保健所から指導された療養方法とその他の情報をチームへ共有
- ・療養(入院または自宅療養)
- ・状況に応じて療養の途中経過をチームへ報告

■陽性判定者が所属するチームの対応

- ・本人からの報告をWリーグへ報告
- ・チームドクター等に相談する
- ・濃厚接触者の抽出及び集団発生に対するリスクの管理
 1. 医療機関受診の対象者の確認:健康チェック表、自覚症状を確認の上、医療機関受診対象者の確認 (チームドクターなど)
 2. Wリーグと今後の方針を相談
 3. 保健所によって濃厚接触者と指定された者の確認
チーム関係者の場合は自宅待機指示
 4. その他の選手やチーム関係者は原則チームの動きに従い、チームは予定どおりに試合・練習を行う
チーム全体の活動はこの時点では停止しないが、検温等の健康チェックをより厳正に実施する
 5. マスコミ対応:チーム、リーグとして記者会見などへの対応

⑦濃厚接触者と判断された場合の対応

■ 本人又は同居家族・同居者が濃厚接触者と判断された場合

- ・本人は自主隔離を行うこと
- ・チームドクター、専門家チーム・アドバイザーと相談のうえ、診察や検査の実施
- ・Wリーグへの報告

⑧情報発信について

■ 情報発信の基準:

W リーグ関係者(選手/エントリースタッフ)が①PCR 検査で陽性になった場合、②濃厚接触(疑い)者になった場合、速やかに事実を発表する

- ・ PCR 検査受診時は、発表しない
- ・発症による自主隔離も、発表しないことを推奨する
- ・個人名は原則として公表しない

⑨新型コロナウイルス感染者及び濃厚接触者が出た場合のレギュレーション

■感染者及び濃厚接触者が出た場合の試合の取り扱い

感染者及び濃厚接触者を除き、「PCR検査(リーグ公式)」において陰性が確認出来る1チーム 8 名の選手とJBA コーチライセンスの B(F)級以上を保有するコーチ 1 名が帯同できない場合、試合不成立・中止扱いとし、勝敗を付けない。

■感染者及び濃厚接触者が出た場合の対応

選手及びチームスタッフに感染者もしくは濃厚接触が確認された場合、当事者は「PCR検査(リーグ公式)」において陰性が確認出来るまで、試合を含めたチーム活動を以下の通り実施不可とする。

感染者	感染確認次第、適切な治療を受け、完治（判断基準は後述）までは活動を禁止。
濃厚接触者	感染者が発生次第、保健所の確認などにより濃厚接触者を判断。 14 日間の自宅待機とし、活動を禁止。
非濃厚接触者	制限なし

■感染者が出た場合で且つ、試合当日までに濃厚接触者の判定が困難で不明確な場合

→別紙※「第23回Wリーグにおけるエントリー可否判断フロー」に基づき判断する

原則として、体温が37.5度以上または平熱よりも+1.5 度を超える発熱の場合、本人は症状の有無にかかわらずエントリー不可。

Wリーグ独自基準により濃厚接触疑い者を特定する。

濃厚接触疑い者は当該試合のエントリーを認めない。

※専務理事判断

→専務理事判断にて試合を中止する場合がある

■感染者の復帰タイミング

感染者の復帰タイミングについては、厚生労働省の基準と競技特性を踏まえ、下記に示す目安を設定する。

自宅療養解除もしくは退院可能(完治診断)からの復帰は、特に有症状だった場合は、体力低下や体調がすぐれないケースもあるため、チームドクターなどと相談しながら選手の復帰タイミングを検討すること。

自宅療養、入院療養の場合も、新型コロナウイルス感染症の症状有無によって全体的な期間は変わり得る点に留意すること。

また復帰までの時間は、症状の軽快まで個人差があるため、あくまで目安であることに留意すること。

▶感染者の復帰について

「退院基準」 厚労省新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 診療の手引き・第 5 版より

1. 有症状者の場合

- ①発症日【検体採取日】から 10 日間経過し、かつ、症状軽快後 72 時間経過した場合、退院可能とする。
- ②症状軽快後 24 時間経過した後、PCR検査または抗原定量検査で 24 時間以上間隔をあけ、2回の陰性を確認できれば、退院可能とする。

2. 無症状病原体保有者の場合

- ①検体採取日から 10 日間経過した場合、退院可能とする。
- ②検体採取日から 6 日間経過後、PCR検査または抗原定量検査で 24 時間以上間隔をあけ、2回の陰性を確認できれば、退院可能とする。

【参考】 期間計算のイメージ図

【有症状者の場合】

- ① 発症日から10日間経過し、かつ、症状軽快後72時間経過した場合、退院可能



- ② 症状軽快後24時間経過した後、24時間以上間隔をあけ、2回のPCR等検査で陰性を確認できれば、退院可能



【無症状病原体保有者の場合】

- ① 検体採取日(陽性確定に係る検体採取日)から10日間経過した場合、退院可能



- ② 検体採取日から6日間経過後、24時間以上間隔をあけ2回のPCR等検査で陰性を確認できれば、退院可能



「退院後～復帰への基準」

STEP1 自宅待機期間(2 週間)

内容:事後経過観察期間

STEP2 チーム活動への復帰期間(2 週間)

内容:チーム活動の再開

STEP3 公式戦出場

■濃厚接触者と判定された者の復帰タイミング

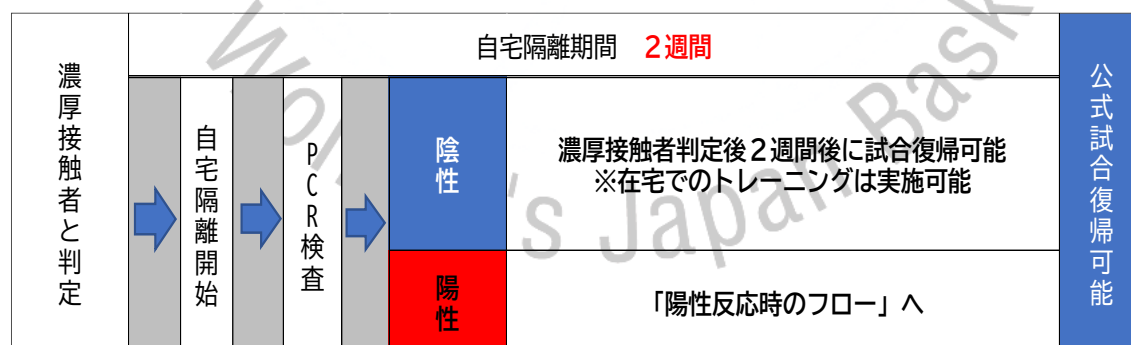
濃厚接触者と判断された場合、保健所の指示に従うこと。

症状がない場合であっても、潜伏期間の中央値は概ね 5 日であり、さらに発症 5 日目までに RNA 濃度がピークに到達し感染力もあることから、無症状病原体保有者に対しては曝露後 10 日目の検査が最も効率よく感染の有無を判定できると考えられる。

そのため、感染対策上の観点から自宅等での隔離待機などの対応を優先させて実施する必要がある。

なお、隔離解除後もマスク着用を心がけ、就業再開後も 14 日間は健康観察を継続することとする。

▶濃厚接触者の復帰フロー



⑩新型コロナウイルスの影響により試合実施不可能な場合のレギュレーション・順位の取り扱いについて

A:試合が単発で実施不可能になる場合

～一部チームで感染者および濃厚接触者が発覚した場合～

～アリーナ都合にて試合実施が不可能となった場合(施設利用者が感染など)～

もしくは専務理事判断につき当日の試合実施が不可能と判断した場合。

・試合の取り扱い

「PCR検査(リーグ公式)」において陰性が確認出来る最低限 1 チーム 8 名の選手とJBA コーチライセンスの B(F)級以上を保有するコーチ 1 名が帯同できない場合、当日の試合は行わない。

実施不可能となった試合の扱い

A:シーズン前半など代替試合が可能な場合

※ バイウィーク期間に代替試合を行う。チーム体育館なども活用。

B:シーズン後半など代替試合が不可能な場合

※ 「無効試合」とし、当該試合を除いた最終「勝ち点」※にて順位を決定する。

※「勝ち点制」について

今シーズンの順位は「勝ち点制」を採用し、「勝ち点」により決定する。

「JBA2021 バスケットボール競技規則・チームの順位決定方法(一部例外あり)に準ずる」

○勝ちチーム 勝ち点2 ○負けチーム 勝ち点1

○試合不成立 勝ち点0

※試合不成立(コロナ感染、天災、設備不良等で代替開催も困難な場合)

◆2チーム以上が同じ勝ち点の場合は、下記の順序で順位を決定する。

- ・当該チーム間での対戦試合の勝ち点
- ・当該チーム間での対戦試合の総得失点差
- ・リーグ戦での全試合の総得失点差
- ・リーグ戦での全試合での総得点の大きい方

B:複数の試合が実施不可能となる場合

～感染が拡大し、リーグ戦を中断せざるを得ない状況の場合～

～複数チームで複数人が感染してしまった場合～

～明らかに試合実施が理由でクラスターが発生してしまった場合～

・試合の取り扱い

上記のケースを含め、様々なケースが想定されるが、その時点での情勢によって判断も柔軟に行うべきと考えるため、適宜リーグ運営部会・理事会にて協議する。

上記状況を受けて、複数の試合を中止した場合

①振替開催が行える場合は振替日程での勝ち点を採用する。

②中止した試合は「無効試合」とし、当該試合を除いた最終「勝ち点」にて順位を決定する。

C:順位決定方法

・レギュラーシーズン順位:

少なくとも全13チームが 公式戦を50%(1チームあたり12試合)消化した場合につき順位を決定する。

レギュラーシーズンの勝ち点に応じて 1 位～13 位までを決定する。

※50%消化できなかった場合はレギュラーシーズンの順位を決めない。

・シーズン最終順位

- ① 優 勝 プレーオフ・ファイナルの勝者
- ② 準 優 勝 プレーオフ・ファイナルの敗者
- ③ 3位・4位 プレーオフ・セミファイナルの敗者で、レギュラーシーズン上位チームを3位とする。
- ④ 5位・6位 プレーオフ・クォーターファイナルの敗者で、レギュラーシーズン上位チームを5位とする。
- ⑤ 7位・8位 プレーオフ・セミクォーターファイナルの敗者で、レギュラーシーズン上位チームを7位とする。
- ⑥ 9位以降 レギュラーシーズン順位を参照

D:リーダーズ・アワード

少なくとも全13チームが 公式戦を50%(1チームあたり12試合)消化した場合につき決定する。
50%消化できなかった場合はリーダーズ・アワードを選出・表彰しない。

E:プレーオフ

- ①公式戦を50%(12試合)消化した場合につき、当初予定通りのレギュレーションでのプレーオフを行う。
- ②レギュラーシーズンにおいて公式戦が50%消化できず、途中終了した場合でも、今後のスケジュールにおいて、試合が行える見通しが立つ場合につき、トーナメント形式によるプレーオフにより最終順位を決定する場合がある。
- ③上記①も②も困難な場合はプレーオフを中止し、順位決めは行わない。

3. トレーニング・練習

① JBAのガイドラインが基本

・トレーニングや練習については、公益財団法人日本バスケットボール協会(以下、JBA)のガイドラインを目安とし、ステップの移行は各クラブの判断に委ねるが、チーム所在地の都道府県、あるいは地方自治体などの上位団体の方針に従うことが前提となることに留意すること。チーム所在地の都道府県や地方自治体のような上位団体によるスポーツ活動再開等に関しての独自の方針がある場合はそれに従い、必要に応じて JBA ガイドラインを参考とすること。

※「JBA バスケットボール活動再開に向けたガイドライン（手引き）」を参照ください

[JBA Guideline 3rd 20210120.pdf \(japanbasketball.jp\)](https://www.jba.or.jp/league/2021/01/20/20210120.pdf)

② 練習ゲームについて

・「2020-21 トップリーグプレゲーム確認事項(兼チェックリスト)」を基に、新型コロナウイルス感染症の感染予防および対処について「招聘元チーム」「招待チーム」「審判員」「TO スタッフ」が共同して情報共有に努めることとする。

・招聘元の企業及び体育館独自の入館ルールがある場合は「招聘元チーム」は事前告知の上、「招待チーム」「審判員」「TO スタッフ」はこれを遵守する。

・オンコートにおけるマスク着用のルールは公式戦同様とする。

③ アーリーエントリー選手

・例年どおりのアーリーエントリー要項に順じ、アーリーエントリー必要書類を提出の上、リーグで TeamJBA への登録完了が確認でき次第チーム練習参加可能とする。

・新型コロナウイルス感染症のまん延期におけるバスケットが感染リスクを伴うことについて、選手、保護者及び所属元に説明し、了解を得ていること。

4. 移動・宿泊

① 都道府県をまたぐ移動について

緊急事態宣言が解除され都道府県をまたぐ移動が認められることが、リーグ開幕の前提となる。

都道府県をまたぐ移動の制約が再び決定した場合は、各自治体の指導のもと、移動の範囲は制限され、場合により公式試合の実施判断に影響が及ぶことに留意する。

② 交通手段について

可能な限り公共交通機関を利用しないことを推奨する。

・貸し切りバス：

事前の車内消毒はもちろん、運転手の体調管理やマスク・手袋の着用の協力、適度な換気を依頼すること。

車体サイズにもよるが可能な限り感覚を空けて着席すること。

・新幹線・飛行機

一般利用者との接点を極力減らすため、座席は可能な限りチームで固まって使用すること。

移動の際は、個人単位で予防対策を徹底すること。

移動中の会話は極力避けること。

乗車前と降車後の手指消毒、乗車中も手指衛生等に気を付けること。

③ チームでの食事について

・向かい合わせの配席は避け、選手の着席間隔を空けること。

・広いスペースが取れない場合は時間差での利用等の対策を講じること。

・ビュッフェ形式は極力避けること。基本的に一人ずつ取り分けた状態で食事を用意させること。

・食事中、宿泊施設の従業員等は極力在室しないように要請すること。

④宿泊施設での注意事項

- ・宿泊施設の従業員や利用客との接触を減らすよう工夫すること。
 - ・施設単位またはフロア単位での貸し切りを積極的に検討すること。
 - ・食事会場はチーム専用となるよう手配すること。
- チームが使用する部屋は事前の消毒、換気を宿泊施設へ依頼すること。
- ・連泊する場合の客室の清掃は、チームの不在時に行うよう依頼すること。
- なお、清掃しないことも選択肢となり得る。

5. 無観客試合(リモートマッチ)

国内の感染状況に伴い、国や自治体からの要請があった場合、無観客(リモート)試合となる可能性がある。お客様の入場を認めないことはもとより企業関係者なども、入館できる人数を最小限とし試合を行う。

ここではリーグとして無観客(リモート)試合を実施する場合について記述する。

1) 試合当日にアリーナへの入場できる者

①チーム関連

A: エントリー選手・エントリースタッフ

→ベンチ入りOKとする(アリーナフロア立入可) ※色付きADカード
本年のエントリーメンバーで且つ「PCR検査(リーグ公式)」を受診し、且つ「健康管理日報」「行動記録」を記入している者

※アーリーエントリー採用後エントリー漏れとなった選手・MGRは「PCR検査(リーグ公式)」を受診し、且つ「健康管理日報」「行動記録」を記入している場合、ベンチ入りを認める。但し選手はユニフォーム着用としウォーミングアップの参加は不可とする。補助は可。試合前後におけるミーティングへの参加も認める。

【推奨】ワクチンの2回接種の推奨

Wリーグ医療アドバイザーよりメーカー名問わずワクチンの2回接種は感染拡大防止の重要な要素となっている指摘あり。

本大会参加においては接種の義務付けは行わないが、シーズンに向けてもベンチエントリーメンバーのワクチンの2回接種を強く推奨する。

B: エントリー外スタッフ (PGM登録役員、チームドクター)

ベンチ入りNG (コートサイド関係者エリアへの着席可) ※色付きADカード
※公式PCR検査は不要とする。
試合前後におけるミーティングへの参加はできない。

※コートサイド関係者エリアへの着席は最大5名以内であればB以外のチーム・会社関係者の着座を認めるものとするが、ベンチエリアへの侵入は禁止する。

C: エントリー外スタッフ (エントリー外のトレーニング系スタッフ)

ベンチ入りNG (試合中はスタンド席での観戦とする) ※色付きADカード
※公式PCR検査は不要とする。
試合前後におけるミーティングへの参加はできない。
試合開始30分前まではコート内での活動を認める。

D: エントリー外スタッフ (B・C以外のスタッフ)

来場OK (スタンド指定場所での観戦のみ) ※白色ADカード
第23回Wリーグの「記名ADカード」を持参している者 (本人のみ)
※アリーナフロアへの立ち入り、ミーティングへの参加及び一切の応援行為を禁止します。

上記以外の入館は原則不可とする。

記名ADカードのない「会社役員」「親族」「アーリーエントリーしていない
入団内定選手」「応援団」「チアリーダー」「マスコット」も入場不可する。

※ただしチーム運営上やむを得ない場合は試合前日までに W リーグの許可を得ること。

BCDでの来場を希望する場合は、必ず事前に申請すること。(フリーフォーム)

試合実施週の木曜日までにWリーグまでメールにて提出すること。

②審判員

JBAの指導のもと審判員に対しては以下の対応を行っている。※抜粋

1. 自身の感染防止のため

十分な休息、手洗い、移動中・会議中のマスク着用など体調管理ならびに感染予防に努める。

2. 他者への感染防止のため

①毎日の健康チェック及び検温を徹底する。

②体温が 37.5度以上または平熱よりも+1.5 度を超える発熱の場合は、審判活動及び会議への参加を控える。

3. 体温が 37.5 度以上または平熱よりも+1.5 度を超えている場合

①担当審判は、キャンセル対応のため速やかにJBA 審判部へ連絡する。また、審判当日の朝、体温が 37.5 度または平熱よりも+1.5 度を超えている場合も同様の対応とする。

※当日のキャンセルを極力なくすためにも、日々の健康チェックが非常に重要であることを十分に認識し、毎日の検温など自身でできる感染予防対策を徹底してください。

詳細については「実施運営ガイド」を参照。

③テーブルオフィシャルズ

試合中とその前後(業務中)は館内ではマスク + フェイスシールド着用とし、37.5度以上または平熱よりも+1.5 度を超える場合は交代する。

※本大会においてワクチン接種(2回)の義務付けは行わないが、シーズンに向けては、TO担当者のワクチンの2回接種を推奨するものである。

④コートスイーパー

試合中とその前後(業務中)は館内ではマスク + フェイスシールド着用とし、37.5度以上または平熱よりも+1.5 度を超える場合は交代する。

※本大会においてワクチン接種(2回)の義務付けは行わないが、シーズンに向けては、TO担当者のワクチンの2回接種を推奨するものである。

⑤マスコミ・メディア各社およびテレビ中継クルー

原則マスクor フェイスシールド着用とするが、業務遂行上必要な場合は外してもよい。

なお、当日に 37.5度以上または平熱よりも+1.5 度を超えている場合は入場を認めない。
また、メディアは事前申請があった者のみ入場を許可する。

⑥ その他

- 1) 体育館スタッフ
- 2) 演出・進行・装飾・警備業者スタッフ
- 3) Wリーグ関係者

上記スタッフは原則マスク or フェイスシールド着用とするが、MCなど業務遂行上必要な場合は外してもよい。

なお、当日に体温が 37.5 度または平熱よりも+1.5 度を超えている場合は入場を認めない。

2) 来場者のアリーナ入場時に必ず行うこと

※後述の「入場制限試合」でも原則同じレギュレーションとする。

① 入場チェック

入場口(原則 1 か所とする)で入退場チェックを行う。

リーグは実施内容と来場者数をふまえ、適正な人数と設備を設置する。

来場時点でマスクの着用有無を確認。着用していない場合はマスク保有の確認、ない場合は配布する。

【重要】選手・スタッフのマスク着用について

選手・スタッフのマスク着用は以下の通りに定める。

「マスク不要」: オンコートの選手のみ

「マスク着用」: 控え選手(※出場直前・直後は不要)GM、TR、MGR 等のチームスタッフ

選手交代時の外した後のマスク管理についてはチーム内で管理すること。

アリーナ内・オフコートについては着用を必須とする。

② 入場時の体温チェック

●選手・チームスタッフ・審判

顔認証サーモグラフィー等 による体温スクリーニングで発熱症状が確認された場合、接触型検温器で再度、体温チェックを行う。

各クラブのトレーナーとチームドクター等で相談の上、「健康管理日報」もしくは「アトレータ」等に記録されている体温と比較し平熱と判断される場合は入場可、発熱と判断される場合は入場不可とする。

●その他入場者

- ・第一段階:顔認証サーモグラフィー等 による体温スクリーニング
- ・第二段階:第一段階で発熱が確認された場合、非接触型検温器で体温チェック
- ・第三段階:第二段階で発熱が確認された場合、接触型検温器で体温チェック
発熱と判断される場合は入場不可とする。

体温測定済みの者の識別方法を工夫する。また再入場時も体温チェックを行う。

③入場者リストチェック

選手・チームスタッフ・審判以外は入場リストで氏名の確認を行う。

リストに名前がない場合は原則入場を認めない。名前がある場合は入場時間を記載する。

ただし、緊急の追加対応については、W リーグ運営担当責任者の判断による。

W リーグ指定の「誓約書」を確認、署名の上、W リーグへ提出すること。

3)試合当日の各種イベント等について

①各種メディア対応※後述の「入場制限試合」でも原則同じレギュレーションとする。

全ての来場メディアにW リーグより下記の対応について徹底を求める。

「事前申請」

「体温の確認」

「マスクor フェイスシールド着用」

「2m以上の距離の確保」

基本的にメディア対応は以下の方針に則る。

実施するもの:

■「リーグ主管試合」

本年度は、事前申請があった場合のみ、選手・コーチに対する囲み会見・取材をおこなう。

対応は最小限の人数とし、インタビュアーとの距離も2m以上必ず空けること。

※時間は 1 選手あたり 5 分程度とします。

【追記】※選手は原則マスク着用とするが、1社単独の取材等で十分な距離が確保できる場合はこの限りではない。

※チームや会場の都合によりお断りする場合あり。

■「クラブ主管試合」

主管クラブに対するもののみ囲み会見・取材をおこなう。

アウェイチームへの取材は不可とする。

原則行わないもの

昨年実施の試合終了後における両チーム「公式リモート会見」

②各種試合に伴うセレモニーについて

本年度はTIPOFF30分前のオープニングセレモニーをおこなう。

コート開放は、第1試合の場合TIPOFF の90分前とする。

1日複数試合開催の場合:

第2試合は第1試合終了後、すぐにセレモニーとなるため、第2試合のスタッフが第1試合のチームが捌け次第ベンチの消毒を行う。※第1試合チームは終了後速やかにベンチを離れること。終了後にベンチエリアでミーティングは行ってはならない。

<基本タイムテーブル>

-90:00 コートインOK(第 1 試合)

-70:00 コートインスペクション(チームはコートクリア)

-60:00 審判・チーム(MGR)による健康状態共有ミーティング(第 1 試合の場合)

-45:00 審判・チーム(MGR)による健康状態共有ミーティング(第2・3試合の場合)

※目的:両クルー・メンバーの健康状態が問題ないことを確認・共有する。

-40:00 オープニングセレモニー

-30:00 アップ開始

~~-10:00 キャプテンミーティング~~

-03:00 3 分前ブザー／両チーム選手ベンチへ

-01:30 1 分 30 秒前ブザー／審判団紹介

本年も審判との CAP ミーティングは行わないものとする。

「審判・チーム(MGR)による健康状態共有ミーティング」を本年も行うこととする

※目的:両クルー・メンバーの健康状態が問題ないことを確認・共有する。

エントリーメンバーの体調不良情報については確実に共有すること

第 1 試合の場合 :試合開始 60 分前

第 2、3試合の場合:試合開始 45分前

※試合未終了の場合は終了後に行う。

③対戦チーム同士のハイタッチなど各種所作について

以下の行為は感染防止の観点から自粛する。

1)審判との握手(審判紹介後、試合前後など)

2)ベンチ同士(HC や部長)の握手

試合中のチーム内でのハイタッチはコート内、ベンチ内ともに禁止とする。

試合後の両チーム同士のハイタッチも禁止とする。

④出待ち、入り待ち対応

Wリーグとしても告知をするが、無観客でも一目見ようと出待ち入り待ち行為をするファンの来場が予想される。

⇒出待ち入り待ち行為をするファンへの一切の対応を禁止とする。

※親族、他チーム選手、恩師、スポンサー、後援会長なども含め、公の場での接触行為は禁止とします。プレゼントを受け取る、写真・サインに応じることも厳禁です。

⑤選手ロッカー・控室での過ごし方

ミーティングなどやむを得ない場合を除き、決して広い施設ではないことと、密室であることをふまえ、長時間ロッカー室に滞留することは控える。※サブコートがある場合、開放するので、チーム間で譲り合いながら且つ距離を置いて使用してください。

6. 入場制限試合

レギュラーシーズンは入場制限試合となる可能性がある。アリーナ内へ入場する人員を一定数保ちながら、クラブや選手、興行関連スタッフ、来場者の安全確保について最大限に配慮し、競技、興行の安定開催を第一とした運営を行う。

ここではリーグとして入場制限試合を実施する場合について記述する。

1)入場者の考え方

① 入場者の制限数について

会場に応じてアリーナキャパシティの50%を上限として W リーグにて入場可能数を算出決定する。

目安として、固定座席に前後左右を少なくとも 1 席開けた状態を保てること。

国・行政のガイドラインを順守し、立ち見観戦は不可とする。

② 入場できないカテゴリー

基本的に来場不可とするカテゴリーは作らない。

上記キャパシティには、無観客試合時に来場が可能な者(選手・チームスタッフ・興行関係スタッフなど)は含まない。

③ 一般入場者

原則「前売り」での購入を推奨するが、残席がある場合当日券の販売を行う。

チーム企業社員および関係者を対象としたチーム毎のローピングは行わない。

④ ADカード保持者

Wリーグスポンサー、サプライヤーなどの関係者の入場は可能。

ただし「関係者入場口」より入場し、検温とリストチェックを行う。

着座観戦の場合は指定エリアにて固定座席に前後左右を少なくとも1席開けた状態とする。

立ち見観戦は原則不可とする。

事前申請は不要だが販売状況によっては入場を断る場合がある。

アリーナフロアへの立入やチームとの接触は原則不可とする。

⑤ その他

チア・マスコットのパフォーマンス入場を認める。
ただしチアはコート内の人数を最大10名程度とすること。
パフォーマンス時もマスクを着用する。
事前申請の無い場合パフォーマンスの実施は認めません。
試合のスムーズな進行及び選手を優先した諸室の確保のため、入場する場合は③もしくは④のカテゴリーとする。

2)アリーナ内のゾーニング

アリーナ内のゾーニングは密の防止など感染予防の観点から以下のブロックに分け、原則として各ブロック間の不要不急の往来は禁止する。

- ①アリーナフロア：選手・スタッフ・審判・TO・コートキーパー
運営・演出関連スタッフ・中継スタッフ・カメラ&スチールメディア
アリーナ指定席購入者75名程度
会場によってはエリア指定席購入者を含む。
- ②スタンド関係者エリア(2F)：ペンメディア、色なしADカード保持者
- ③スタンド一般エリア(2F)：一般入場者、チーム関係入場者

スタンド一般エリアは「自由席」とする。

一定間隔で「着座禁止」の張り紙等を施し、観戦席間の距離を一定に保つ。
試合中の座席の往来は原則禁止とするが、試合間での移動は認める。

3)アリーナ内その他

①換気・空調

無観客試合よりアリーナ内の人数は増えるため、よりこまめな換気をする。
オペレーションに支障がない範囲でなるべく各種入り口は開放する。
試合間の「公式消毒」実施時には「公式換気」も併せて行う。

②掲出物

原則、以下の「リーグ管理物」のみ掲出可能とする。
設置及び節ごとの移動・管理は運営スタッフが行う。

- ・Wリーグ 5 角フラッグ(リーグ主管試合:ニュートラル色/クラブ主管:クラブチーム色)
- ・チームバナー・LOVEDバナー(出場チーム)

リーグ主管試合では以下の掲出は不可とします。

- ・チーム独自作成の横断幕・ローカスポンサー横断幕・選手個人の応援幕

クラブ主管試合では以下の掲出を認めます。

- ・チーム独自作成の横断幕・ローカスポンサー横断幕・選手個人の応援幕
- ※ただし相手チームからの掲出希望には柔軟に対応すること。

ファンによる持ち込み・掲出は不可とする。

いわゆる「応援ボード」は自身の座席エリアに収まるサイズであれば認める。

※ただし掲出時には他のお客様の迷惑にならないように留意すること。

4) 応援団他エンターテインメントについて

① 応援団

- ・今シーズンのレギュラーシーズンは応援団による応援扇動行為を禁止する。
- ・チーム独自の音響機器(スピーカー・サンプラー等)の持ち込みを禁止する。
- ・試合前の応援練習や大声でのあいさつ、試合後のあいさつを禁止する。
- ・立ち上がったの応援扇動行為は禁止する。
- ・BGMにあわせて手拍子やハリセンを叩く・掲げる等の行為は許可する。
- ・タオルマフラーの「振り」「回し」は禁止するが、「掲げる」は許可する。

② 音響・BGM

応援の音響については運営サイドにより以下についてのみ行う。

- ・オフENS音(5 曲まで)
- ・タイムアウト音(3 曲まで)
- ・スターティング5(1 曲)

※すべて即使用できる状態での音源データをWリーグに提出すること。

③ オープニングセレモニーについて

- ・グッズ投げ込みは感染予防の観点から不可とします。
- ・主管を問わずエスコートキッズやお客様とのハイタッチなどのサービスも不可とします。
- ・後述のチアリーダーに関しては「花道での煽り」は「マスク着用」「一定距離確保」であれば認める。

- ・選手への花束他記念品贈呈セレモニー

→実施を認める。

ただしプレゼンターの人数は1～2名程度とし、必ずマスクを着用・手指消毒を直前に行う。

贈呈のみとし、握手をしたり選手との会話や身体的な接触は絶対に行わないこと。

写真撮影時のみマスクを外すことを認めるが、撮影後は速やかに着用する。

・来賓等のお客様向けのスピーチについて

→基本的には自粛をお願いしたい。

選手に対する感染拡大防止のため、なるべく自粛をしていただけますよう調整する。

止むを得ず行う場合、選手は一度ベンチに控えさせるように対応する。

④前座試合について

→実施を認める。

ただし、選手関係者は試合開始80分前までにすべてのイベントを終え、アリーナフロアから退出すること。※裏導線を含めてWリーグ選手との接触は絶対に避けるように配慮すること。

エキシビジョンであっても選手含む関係者の人数が多すぎないこと。

追加のベンチ椅子を出さないように。

⑤ハーフタイムイベントについて

→実施を認める。

ただし、パフォーマンスする者は原則マスク着用とし、オンコートの人数を10名程度に保てるものであること。

声を出したり、飛沫が飛ぶような行為も禁止する。

客席へ物を投げ込んだり、観客をアリーナ内に侵入させるような行為も禁止する。

※不安がある場合は必ず事前にWリーグ事務局まで問い合わせること。

⑥ チアリーダー・マスコット

チアリーダー・マスコットは以下の行為については認める。

・選手入場時の花道(選手との距離を保つ。マスク着用)

・ハーフタイムでのパフォーマンス(10名程度。マスク着用)

※クォータータイムでのパフォーマンスはNGとする。

・試合中に観客席で立ち上がっての応援扇動行為は絶対に禁止とする。

お客様が自発的にマスコットに触れてくることはやむを得ないが、必要以上に積極的に接触するようなパフォーマンスは避ける。

5)ファンサービスについて

- ・無観客試合での取り組みは継続して行うものとする。

Wリーグとしても告知をするが、無観客でも一目見ようと出待ち入り待ち行為をするファンの来場が予想される。

⇒出待ち入り待ち行為をするファンへの一切の対応を禁止とする。

※親族、他チーム選手、恩師、スポンサー、後援会長なども含め、公の場での接触行為は禁止とします。プレゼントを受け取る、写真・サインに応じることも厳禁です。

チーム会社社長などのスーパーVIPの来場の場合でも、一般のお客様の前で整列して挨拶をしたり、円陣を組んで挨拶をされたりするような行為はNGとする。

挨拶・接見が必要な場合は開催地責任者の許可を得てバックヤードで行うこと。

6)来場客へのアナウンス

来場客に対して、下記の感染拡大防止対策について協力を要請するとともに対応への理解を求めること。

- ・入場口でのサーモゲートなどの通過を求める。
 - ※37.5 度以上の場合は声掛けの上、体温計での検温を行う。
 - 実際の体温が 37.5 度以上の場合は入場を認めない。
- ・再入場は可能であるがその都度ゲートの通過を求める。
- ・手指消毒液によるアルコール消毒への協力。
- ・エリア指定席・自由席の場合着座エリアの把握と記録
- ・(当日券を販売する場合のみ)半券に個人情報の記載協力。
- ・マスクの着用。
 - ※再三の要請にもかかわらず着用いただけない場合は退場していただく。
- ・紙チケットの場合、スタッフは券面の確認のみを行い、切り離しは来場客自身が行う。
- ・大声を発する応援行為の禁止

7)1日複数試合のレギュレーション

第23回大会のレギュラーシーズンは1日複数の集中開催を行う都合上、状況によっては、チーム側にとっても通常のリーグ戦のような十分な環境が担保できない場合がある。未曾有の有事という背景を理解の上、本項への協力を要請する。

①練習会場:

複数チーム来場に伴い、希望どおりの時間での練習が困難な場合が想定される。

・当該アリーナフロア：前日＋当日で最低30分-60分の確保を目標とする。

- ・遠方チームを優先し、近隣チームはなるべく自チーム体育館の使用を求める。
- ・外部体育館の使用も検討されたい。※Wリーグでのあっせんは行わない。
- ・チーム間での調整は認めるが、必ずその結果を速やかに主管者と共有すること。

②アリーナへの入場・退場時間：

アリーナ内での密を防ぐため「指定時間での入場」と「速やかな退場」に協力を求める。

原則：第 1 試合のチーム退館後に第 3 試合のチーム入館可とします。

③試合間消毒への協力

試合間には必ず「公式消毒」を行うものとする(5 分間)

試合間消毒の場所：

- ・両チームベンチ
- ・TO及びオペレーション卓
- ・コートキーパー椅子
- ・アリーナフロア

次の試合のチームが消毒を行う。前の試合のチームは、試合後とにかく速やかにベンチエリアから退出する。ベンチエリアでのミーティングは行ってはならない。

④ベンチ

ベンチ内におけるイスの間隔を 1 席分空けること。

今シーズンに限り 2 列目以降の設置を認める。

「市松模様」になるように交互に椅子を配席することが望ましいが、通訳など必要に応じて隣同士となる場合はやむを得ないものとする。

ミーティング時など、ベンチエリアの両サイド迄広く使用することを認める。

ベンチ内でのタッチや、若手選手によるタッチランニングなどは禁止とする。

スクイズボトルは個人専用とし、共用は行わない。

「チーム広報」のみ、ベンチ近辺での撮影を許可する。ベンチ入りは不可。

※専用ビブス、マスク・フェイスガードを必ず着用すること。

⑤エンディングマイク

今大会の「リーグ主管試合」では「1日における最終試合の勝利チーム」より1名が、

お客様にむけて「エンディングマイク」としてスピーチします。

「来場への御礼/試合の感想/次回のゲームの案内/締め言葉」を基本として適宜アレンジしていただければ結構です。

※複数試合の場合、次に試合があるケースでは行わない。

⑥退場・退館

試合後は速やかに退場すること。ファンへの手振りは許可する。

接触・会話・グッズの投げ入れ、差し入れの受け取りなどの行為は厳禁とする。

事前に申請のあった「囲み取材」以外は認めない。

親・兄妹・恩師等との接見も禁止とする。

7. 各チームへの依頼事項

- ① 体調不良者や疑い者・高熱者発生時におけるWリーグへの報告・連絡・相談
- ② 練習予定、来館予定等の変更・キャンセルの報告・連絡・相談
- ③ 不帯同選手・ヘッドコーチの対外的情報開示(HPもしくはSNS)
- ④ 濃淡それぞれのユニフォームを会場まで持参すること
- ⑤ チームバナーの持参と持ち帰り
- ⑥ 囲み取材希望の場合の選手派遣対応
- ⑦ エンディングマイクへの対応
- ⑧ ヘッドコーチ等ベンチエリアでのマスク着用および使用済マスクの取り扱い
- ⑨ お客様の前におけるチームスタッフ以外の関係者・親族等との接触・会話
- ⑩ SNSについてのご協力

集中開催となったことで試合を見ることが不可能となり失望している遠方のファンや日常生活における選手の感染を不安視するファンなど、ファンは各種様々な意見や感情を抱いていることを十分に認識する。

一方で東京2020五輪、アジアカップ5連覇により、新たにWリーグに興味を持ってくださった方々も多く存在すると思われる。

その状況下において、SNSでのファンに向けてのアナウンスは非常に有効であり、こういう機会であるからこそ、ファンに向けたメッセージを積極的に発信してもらいたい。

ただし、体育館や寮以外の場所など、不特定多数の者との接触を不安視させるような場所を想起させる投稿や、深夜帯などの投稿は控えること。

試合を楽しみにしているファンにバスケットボールを通じて元気を届けられるような前向きなメッセージの発信に協力を求めたい。

#Wリーグ

#行こうよWリーグ

#つなげボールを感動を

#バスケで日本を元気に

【ガイドライン補完資料】

【資料】

第 23 回 W リーグ実施運営ガイド

本ガイドラインの補完資料として、実際のリーグ戦の運用については第 23 回「W リーグ実施運営ガイド」を参照する。



入場者用「誓約書」みほん

誓約書

一般社団法人バスケットボール女子日本リーグ 御中



私は、第23回Wリーグにおける試合会場に入場するにあたり、下記の事項確認・承諾し、ここに誓約いたします。

記

1. 現在から過去14日以内に、平熱を超える発熱はありません。
2. 現在、新型コロナウイルス感染症の「疑い症状」といわれる、せき、頭痛、体のだるさ、のどの痛み、味覚・嗅覚の異常などの症状はありません。
3. 過去14日以内に新型コロナウイルスの感染者との濃厚接触はありません。
4. 同居家族、職場、身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われている人はいません。
5. 過去14日間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触はありません。
6. 本日から2日間以内に上記事項と異なる事象が発覚した場合は、速やかにWリーグ開催地担当者までに報告いたします。
7. 新型コロナウイルス感染防止に伴う、リーグスタッフからの指示に従います。

来場日 年 月 日

所属（会社名・協会名）：

氏名（自書）：

連絡先：
